

## 弘前大学医学部附属病院で診療を受けられる皆様へ

本院では、下記の研究を実施しておりますのでお知らせいたします。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、情報を研究目的に利用されることを希望されない患者さんもしくは患者さんの代理人の方は、下記の連絡先までお申し出ください。

1. 研究課題名	大腸内視鏡検査における見逃し病変の臨床病理学的検討		
2. 対象患者	以下の期間において当院でクリーンコロン(大腸ポリープを全て大腸内視鏡を用いて取り除くこと)にされ、かつ、6か月以内に大腸内視鏡検査を受けていた患者様		
3. 対象となる期間	平成29年 1月 1日 ~ 平成31年 12月 31日		
4. 実施診療科等	消化器内科、血液内科、膠原病内科		
5. 研究責任者	氏名	澤谷 学	所属 大学院医学研究科 消化器血液内科学講座
6. 共同研究機関 (共同研究機関研究責任)	なし		
7. 研究の意義	<p>大腸内視鏡検査は、大腸癌をはじめとする大腸の病気を発見する非常に有用な検査方法ではありますが、15~27%の大腸ポリープを見逃すと報告されています。内視鏡機器の進歩や検査医の技術向上により見逃しは減ってはいると考えられるものの、現状では完全になくすることができない課題となっています。</p> <p>今回の研究では、大腸内視鏡検査で見逃されたポリープの特徴を明らかにし、検査医にフィードバックすることで、ポリープの見逃しを減らすことができるのではないかと考えています。</p>		
8. 研究の目的	大腸内視鏡検査で見逃されたポリープの特徴を明らかにすることです。		
9. 研究の方法 (使用・提供する資料等および外部に提供する場合は方法等)	大腸内視鏡検査時と治療時に発見されたポリープを比較することで、見逃されたポリープや患者様の特徴を検討します。全て患者様の診療録よりポリープのできた場所や、形、大きさ、病理組織(顕微鏡観察の結果)、対象の方の年齢、性別、体重、内視鏡が大腸の一番奥に入るまでの時間、一番奥に入ってから内視鏡を抜くまでの時間、検査した医師の内視鏡検査の経験数、腸管洗浄剤でどれくら腸がきれいになったか、などの情報を得て解析をいたします。		
10. 個人情報の保護	<p>公表する情報からは、お名前、住所など、患者様を直接同定できる個人情報は削除します。また、本研究で取得した情報は本研究以外には使用しません。研究期間中および終了後も個人が特定されないように十分配慮いたします。</p> <p>対象者の方より拒否の申し出があった場合は、研究対象から除外しデータを削除致します。ただし、研究結果公表済みの場合は公表済みのデータを収集することはできませんのでご了承ください。</p>		
11. 利益相反に関する状況	本研究は消化器血液内科学講座の研究費を原資として実施されるため利益相反はありません。		
12. 連絡先	弘前大学大学院医学研究科 消化器血液内科学講座		
	電話	0172-39-5053	FAX 0172-39-5946